

豊かな狛江をつくる市民の会通信

豊かな狛江

豊かな狛江をつくる市民の会

狛江市東和泉1-1-18 いづみ荘103号室

新日本婦人の会狛江支部気付

連絡先：080-5084-1821（前土肥）

郵便振替口座番号 00140-3-727253

第257号（2021年12月号） / 2021年12月1日発行

市民の声を生かした市民センターの増改築を

2回目のワークショップ開かれる（10/31）

<署名>

「ちょっと待って図書館移転連絡会」の署名が連絡会ニュース第2号に折り込まれましたので、少しずつ届けられています。現在、3352筆になっています。まだ、お済みでない方、周りの方に広げられる方はご協力お願いします。

<第2回WS>

10/31（日）午前：市民センター改修WS、午後：新図書館WSが開かれました。参加者はそれぞれ12名と17名でした。詳細は投稿記事をご覧ください。

<かわら版第1号の記事、次号で訂正>

WSで話し合っていない部分は表現を変える

こと、「市民ワークショップのご意見まとめ（一部抜粋）」の“まとめ”を削除すること、次号かわら版で訂正記事を出すことになりました。

<市民アンケート>

市民センター改修・新図書館整備のアンケートの回収結果は、第2回WSでは統計処理できる部分のみの報告で、記述部分は未集計ということで報告されませんでした。次回までの公表が約束されました。

<第3回WS>

12/12（日）午前：市民センター改修WS、午後：新図書館WSの予定です。

狭い駄倉新図書館建設計画は白紙に

市民センター改修WS参加者 西尾真人

<これまでの経過>

市民センター増改築問題で、市は昨年8月に、これまでに市民と交わしてきた「狛江市民センター増改築に関する市民提案書」（2016/3）、市が日建設計に調査委託した「調査報告書」

（2017/5）、さらに昨年3月に実施した市民アンケート調査結果とも全く異なる「市民センター改修等基本方針」なるものを、突然「決定」として市民に押し付けてきました。それは駄倉

地区にある商工会議所を高架下に移転、駄倉地区センターと小学生クラブを廃止して、そこに3階建ての新図書館を建設し（実質面積は現在の約700㎡から800㎡に増えるに過ぎない）、移転する。市民センターには現在の公民館と現在高架下にある市民活動支援センターを移動、さらに図書館の一部（例えばとして市長は児童図書などを挙げる）を残し、改修するというも

のです。この決定は図書館・公民館の館長を含め関係者はカヤの外で、それまで進められてきた市民との会話を閉ざしたものです。また、中央図書館の分離問題や「駄倉新図書館」の狭さ、さらに庭なし、利用者の駐車場なし、少ない駐輪場など環境の悪さなどから、昨年9月の市民説明会でも賛成意見は全く見られず、圧倒的に反対や危惧の声でした。

それにもかかわらず、市はこの基本方針に基づき、今年7月11日に第1回の「市民センター改修」のワークショップ（以下WSと略）と「新図書館整備」のWS、そして第1回「新図書館整備基本構想検討委員会」を開催し、その後、第2回が10月31日に開かれました（様子は後述）。その間も、これまでの市民アンケートを打ち消し、市民提案書作成時の公民館利用団体アンケートを打ち消すかのように、このコロナ禍でアンケートが取られました。

公民館と図書館は、もともと現在ある市民センターの増改築問題として、2016年にまとめられた「市民提案書」が軸になって市と市民の間で話し合われてきました。今回の市の「基本方針」の問題は、積み重ねてきた市民協働を裏切ったこと、その方針は市民の願い＝暮らしを豊かにする（ゆったりした、蔵書も倍増した）図書館、すべての市民に開かれ、人がつながる公民館＝を裏切ったことにあります。

既に「ちょとまって図書館移転連絡会ニュース」1号、2号で知らされているように、移転した図書館はスペースを取れば蔵書は減少、蔵書を増やせばスペースは取れない、果ては児童図書を分室化（市長意見）する、一方、市民センターは分離図書室が残る中で市民活動支援センターを押し込むことで、公民館のスペースはほとんど広がりません。その中で、駄倉地区センターが廃止されることになります。こんな状況下で、そもそも基本方針のためにWSを開くこと自体に本来は無理があるのです。

私が参加した第2回市民センター改修WSの様子は以下の通りでした。

＜市民センター改修第2回WSに参加して＞

10月31日（日）10時～12時に中央公民館ホールで開かれました。第1回目は最初の市による経過上の説明が不十分でしたので、市の基本方針（狭い駄倉新図書館構想）がこれまで積み重ねてきた市民センターの増改築構想と全く異なるにもかかわらず、関係者の意見も市民の意見も聞くことなく強引に決めたことについて質問しました。それについて市と意見交換があったぐらいで、あとはポストイットに各自が思うところを書き、それをグループの一人が個人的見解を含めて部分的な紹介をすることに留まりました。そのあまりのひどさに私は愕然としました。その後、話し合ってもいないグループ内の意見がまとめられたかのような「かわら版」1号が発行され、抗議するとともに「訂正のお願い」（略）を提出しました。

そうして迎えた第2回WSは参加者12名と半分ぐらいの出席しかありませんでした。第2回目の呼びかけ文書による議論内容は、・利用者意向と内容、・空間、環境への要望、・その他、でした。ところが当日配布の資料では「必要な設備・機能を考えよう」と非常に狭まった問題に説明もなく変わっていました。

この日は、この問題に触れる暇もなく、矢継ぎ早に参加者からWSの進め方に対する批判が続きました。結局、本題に入ることなく全体で議論しました。私は非常に大切なWSになったと思います。以下、批判の要点と結果を記します。（TOTとあるのは市が委託した3社共同事業体）

1. TOTのWSに対する考え方は、WS参加者は各自の意見を述べれば良いので、あとはTOTがまとめますと言い切りました。さすがに参加者から批判の声が上がり、最低限、議論（合意を得られるように努力する）をすることとされました。

実は、市が求めていることは「ご意見をいただきました。市の基本方針の計画に採用できるものは取り入れさせていただきます」と

いう範囲であることをいみじくも語ったものです。

2. かわら版1号の訂正文を2号に掲載することを決めました。

「各チームで話し合った内容を全体で共有するために発表」とあるが、話し合っていない事実を踏まえて、表現を変えること。および「市民ワークショップのご意見まとめ（一部抜粋）」の“まとめ”を削除することになりました。

訂正文案はTOTに任せましたが、再び批判を受けたい訂正を期待しています。

3. 市（TOTを含む）のWSを進める計画を変更し、次回はどのような市民センターを求めるのか、そのコンセプトを議論することになりました。市民の基本的な要求の根拠になるところで、市民センター（公民館・図書館）の考え方と具体的な要求が議論されるはずです。

はじめてWSらしいWSになると思います。私は多くの時間を費やしてまとめ上げた市民提案書を生かした意見を述べたいと思います。少なくとも1時間ぐらい全体で議論した上でグループ討議が良いかと思います。場合によれば全ての時間を全体で意見交換しても良いとさえ思います。

市民の要求をしっかりとWS参加者の間で確認する作業になるでしょう。

4. 次回（おそらく12月12日）までに公民館利用団体アンケートと市民Webアンケートの、自由記述欄を含めすべてを公開することになりました。

どちらのアンケートも設問が答え難く、誘導的なために自由記述の公開は個人・団体が何を求めているのかを真に知ることになると思います。

5. 市のスケジュールに拘らず、必要な回数のWSを求める意見が強く出されました。

非常に大事なことだと思います。実現できれば市民が合意できる市民センター（公民

館・図書館）を話合えるWSになります。

くいかにすれば市の基本計画を撤回させることができるのか＞

- この基本計画に17億円が予定されています。市民要求がほとんど実現されず、さらに分室と狭い駄倉図書館で現在より使い難くなることさえ懸念されます。

公民館・図書館を使うのは私たち市民です。私たちが合意できる市民センターを私たちの手で作り上げることが基本です。誰かにお任せするものではありません。市の「基本方針」で要求が満たされないなら、それを超えたより良い案を考えだしたいと思います。

- 市民からの強い反対の声をいたるところで挙げる必要があります。

図書館・公民館は狛江市の文化に係る中心と言っても言い過ぎではありません。無関心で過ごせば、その付けは自身と子どもたちに及ぼします。

- WSでの議論は大切な議論です。大いに一参加者として基本方針に囚われることのない要求を出して頑張りたいと思います。しかし、市は最終的にWSの議論に左右されることはないでしょう。もし、何らかの修正等に動くとなれば、市民の批判を無視できないと判断した場合に限られるでしょう。

どんなひどい政策でも、市が決定したことを覆すのは大変に困難です。しかし、出来ない事ではありません。

駄倉新図書館（三階建て）1,100㎡、実質800㎡（現在図書館1フロア700㎡）の“中央”図書館を想像してください。一般駐車場もなく、庭と呼べる庭也没有。中央図書館には児童書がありません（市長意見）。市民センター図書室には児童書しかありません。おそらく、スペースは中途半端、開架図書数は現状より減るかもしれません。多摩類似市に比べて圧倒的に貧弱な図書館をせめて、他市並みにすること

は決して贅沢な望みではありません。「改修」される市民センターも長年の懸案であった部屋数増はおろか、最低限の憩いの場、世代を繋ぐ青少年の居場所作りもかなわないでしょう。

17 億円掛けるなら、市民センターの増築の方がよほど効率も良いはずです。必要ならこの敷

地内に新築することも考えて良いでしょう。資金が困難なら、検討しつつ待つことも出来るでしょう。

ためにならない建設は将来の禍根となるだけです。

第 2 回図書館 WS に参加して

林 健彦

第 1 回目の図書館 WS は市民センターWS とほぼ同様でしたので、ここでは 2 回目（10 月 31 日午後開催）を中心に記します。参加者は 17 名。全 30 名の約半数に減少。テーマは「今後のサービスや利用者層を考えよう」。TOT は、WS の回数を 1 回増して 6 回になどを説明。しかし午前中の WS で約束した「かわら版 1 号」の訂正記事を 2 号で掲載、Web アンケートの記述式回答の集計結果を次回までに公開することについては当初触れず、フロアからの発言を受けてしぶしぶ認めるなど不誠実な対応でした。

また館長は長靴チームの発言者からの抗議でかわら版の表現を訂正した（訂正済のものを配布）と説明しましたが、終了間際に解決済みとしての説明で問題が残りました。

またフロアからは市民提案書が求めている市民協働で進めること、基本方針の駄倉新館は、市が調査依頼した建築方法 5 案のうちの「分散案」よりさらに狭いとの発言がありましたが、TOT は WS は基本方針の枠内で進めたい、市に対する意見は別の場でと取り合わず、駄倉新館ではなくまともな図書館をといた意見にも同じ対応でした。

一方 1 回目と異なり、曲がりなりにも各チームで議論ができました（午前中の抗議の成果ともいえます）発表内容を見ると「今後のサービス」として 3 チーム（4 チーム中）共通であげた機能は①バリアフリー（障がい者へのサービス、来館が困難な方へのサービス、シニアへの

サービスなど）②スペースの充実（ゆったりくつろげる、手に取って見られる書棚を、武蔵野プレイスの小型版）でした。また 2 チーム共通は①調べる機能の充実（読みたい本にたどり着くには司書の充実を-現状では質問しても説明してもらえない、知の拠点として）②蔵書の充実（狛江市の地域資料を、図書館の 3 要素：建物・資料・人の確保を）でした。

スペースや蔵書の充実は市民アンケートで毎年指摘される図書館への 2 大不満です。電子書籍については評価が割れました：1 チームは本との代替可能。もう 1 チームは電子書籍で利用が多いのは実用書、電子書籍化は文庫化のさらに後とタイムラグがあり、活字図書とは棲み分けしており、代替困難。子どもには読み聞かせなど職員の手助け必要と。また Web アンケート⑪で現状に満足していないが 57%と過半数、満足している 14%の約 4 倍との指摘もありました。

今後についてですが、WS のなかで①二カ所に分散ではサービス低下、駄倉新館の面積では蔵書数かスペースのどちらかしか確保できず、市民ニーズにこたえられない、②市民提案書のコンセプトを具体的に検討：めざす利用者層はスペースの取り合いでなく、だれにとっても利用しやすい図書館が基本、各図書室の特色化ではなく、どこに住んでいてもひとしく全域サービスを受けられるよう保障することが先、を情報共有できればと思います。

総選挙に向けた“ちょこみな”の取り組み

戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会 小俣三郎

10月31日に投開票された第49回衆議院議員選挙は自民党の絶対安定多数、改憲勢力の3分の2を超えという残念な結果に終わりました。これに関してマスメディアが「共産党との共闘」を敗因の理由として批判していますが、これは選挙前から自民党が野党共闘に危機感を持ち「反共」キャンペーンを繰り広げたことを受けたものと考えられます。つまり自公政権にとって「野党共闘」は脅威であること、そのために次の参院選、さらに衆院選に向けて「野党分断」を図ろうとしている証拠であるといえます。

しかし野党共闘の一段の前進により62選挙区で野党統一候補が勝利し自民党幹部を落選に追い込むなど、次につながる一定の成果も上げていることをしっかり確認し、この野党共闘をさらに進めて行く必要があります。

東京22区では“ちょこみな”@東京22区市民連合として「野党統一候補」の実現に向け取り組んできました。（この間の取り組みについては本誌1月号を参照）

結果的には櫛淵候補の協力を得ることが出来ず、自民党候補の当選を許してしまいました。選挙期間中に入ってから狛江では次の様に取り組みました。

狛江市での市民宣伝行動

10月24日（日）12時30分～13時

場所：狛江駅北口 参加者：約100人
市民スピーカー：岡村誠（戦争なんてイヤだ！

狛江市民実行委員会代表）は、市民連合による野党統一の取り組み、22区での統一の取り組み経過（共産党の協力と櫛淵候補の非協力）、山花候補への期待などを語りました。山花候補は、宣伝カーの遅れや事後の予定があったこと、スピーカー機器の不具合もあり、十分な訴えが出来ませんでした。

10月27日（水）17時～17時30分

場所：狛江駅北口 参加者：約100人
弁士：山花候補（10分）、金子勝（立憲デモクラシーの会・立教大学教授）（20分）
この「市民デー」は「市民連合による野党共闘」を有権者の目に見える形で示す目的で“ちょこみな”が市民連合を通じて提案したものを受けて山花選対が企画しました。そのため山花候補のスピーチ時間を短く、金子さんのスピーチを長くとりました。山花候補は「市民連合の取り組み」にはっきり触れ、演説は時間的には10分で前回より短いにもかかわらず、前回より多くのテーマについて訴えました。金子さんは大変力強い演説で私たちに大きな力を与えてくれました。

10月30日（土）最終日（立憲民主党主催）

16時30分～17時

場所：狛江駅北口

市民弁士として平和憲法を広める会・小俣眞智子さん、こまえ派遣村・岡村透純さんがスピーチ。山花候補は「今日は市民連合の方もみえています」と切り出し、いのちと暮らし、格差問題、LGBTなどを訴えました。参加者は約100人でした。



声明 第 49 回衆議院議員選挙の結果について

「市民連合 “ちょこみな” @東京 22 区」連絡会

2021 年 10 月 31 日投開票の衆議院議員選挙において、私たちの小選挙区 22 区では自民党現職候補者の勝利を許しました。私たちが野党共闘の候補として応援した山花郁夫さんは残念ながら落選し、比例区での復活当選もありませんでした。この 4 年間にわたって求めてきた「小選挙区で自民党の候補に勝利する」ということが実現できず、また憲法調査会の野党筆頭理事として自民党等による憲法改悪に粘り強く抵抗してこれを防いできた山花郁夫さんを国会に送ることができず、大変残念です。

落選しましたが山花さんは、4 年前より得票も得票率も大きく増やし、惜敗率 85.56%に迫りました。これは市民と野党の共闘の力の反映でもあり、山花さんに対する 22 区有権者の期待の表れそのものです。そして、他の野党候補の票を合わせると自民党候補の得票を大きく上回っています。私たちはこの 4 年間、「小選挙区で勝利をするためには野党の候補者を一本化して、市民と野党の共闘で選挙をたたかわなくてはならない」と言い続けてきました。今度の選挙結果から、私たちはめざした方向に間違いはなかったことを確信しています。

また、今度の選挙の全国的な趨勢は、共闘した野党 5 党が差し引き 10 議席減らしたことは事実ですが、野党共闘は 62 小選挙区で勝利、41 小選挙区で 80%以上の惜敗率に迫り、自民議席を 15 減に追い込むことができました。

衆議院議席の 3 分の 2 を手にした自・公・維 3 党と岸田政権は、すでに破綻した「いのちと暮らし」犠牲の安倍・菅政治の継承を語り、さっそく憲法改悪の動きを見せています。いのちを軽んじ憲法を無視する人たちに憲法を変える資格はありません。私たちは引き続き、いのちと暮らしを最優先する、改憲・軍拡を許さないなどの共通政策を進化させ、22 区での草の根の活動と市民と野党の共闘を発展させて行きます。今回は実現できなかった「野党候補の一本化」を、市民と政党の共同の発展と相互の信頼関係の醸成により実現し、次回こそはこの 22 区小選挙区で野党候補の勝利を目指します。

市民のみなさんの引き続きご支援とご協力を心からお願いします。

再任用拒否で裁判に訴えた岩崎裁判 判決が 12 月 12 日に！
署名は目標まであと 44 筆、皆様のご協力を！

狛江市の公民館職員で、定年後の再任用期間中にパワハラを受け、再任用を拒否された岩崎安男さんの裁判の判決が 12 月 2 日東京地裁立川支部で出されるのを前に、支援する会が 11 月 20 日（土）狛江駅で宣伝・署名を行いました。署名は現在 6956 筆。12 月 2 日の判決までの目標 7000 筆まであと 44 筆です。ぜひご協力ください。



12月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。

※本紙に折り込んでほしいピラなどがありましたら、320部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
11月26日(金) ～ 12月22日(水)	市議会	第4回定例会 12月6日(月)日本共産党市議団、8日(水)平井議員	インターネットでも傍聴できます。
2日(木) 13時10分～	東京地裁立川支部	岩崎裁判判決	14時から三労会館で報告集会
3日(金) 14時～15時	狛江駅前北口広場	Silent Standing	「平和憲法を広める狛江連絡会」
7日(火) 14時～15時	オンライン会議	『豊かな狛江』1月号編集会議	アイディアをお寄せください。
9日(木) 15時～16時	狛江駅前	「九の日行動」 駅前署名・宣伝行動	改憲発議に反対する署名行動です。 9日が雨天の場合は19日(日)同時刻に延期します。
11日(土) 15時～16時	狛江駅前	フラワーデモ 性暴力に抗議するスタンディング	新婦人狛江支部の会員の呼びかけで行っています。お花を持って参加を！
15日(水) 14時～15時	東京土建狛江支部会館会議室	こまえ社保協 事務局・役員会議	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
16日(木) 13時30分 ～15時30分	中央公民館・第2会議室	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
20日(月) 14時～16時頃	みんなの広場 ホール	拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
21日(火) 9時30分 ～11時頃	みんなの広場 ホール	豊かな会会報『豊かな狛江』1月号の製本・仕分け作業	ぜひ！手伝いにきてください。
22日(水) 17時30分 ～18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》の署名行動	民主商工会や東京土建・狛江支部などが中心に第4水曜日の行動です。

総選挙の結果を受けて

野党共闘以外に政権を変える道はない

— 総選挙の感想 “本気度”が問われた“野党共闘”—

和泉本町 増田 善信

この選挙は立憲野党が、共通政策、政権合意、選挙協力で政権奪取を迫った選挙で、成果はあったが、不発に終わった。

臨時国会も開かず、総裁選後僅か5日の総選挙という自・公の陥穽と、連合会長の「共産の閣外協力あり得ぬ」発言などが影響して、「政権交代は今だ」の大波を起こし得なかった。

しかし、共闘の効果はあり、一本化した選挙区の59で勝利し、自民党の大物を落選させた。新潟県では選挙区で6勝2敗、県内では“政権

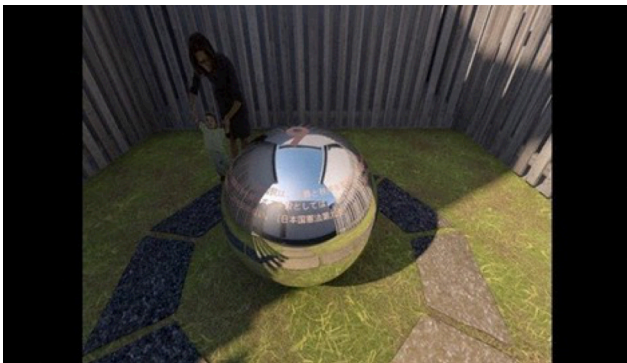
交代”したが、4区238票、6区130票の僅差の勝利。統一候補が1万票差以内で競り負けた所が32。共闘の“本気度”が悔やまれた。

共闘不発の理由は、「政権をとられたら大変」と、自・公、補完勢力だけでなく、経団連、マスコミなどが必死になって、「共産党の閣外協力では政権維持困難」と煽りたてたからだ。金に糸目もつけず、フェイクニュースまで交えて、自民党本部と かったSNSアカウント Dappiなどが流しまくって世論を変えたからだ。

狛江市にも「九条の碑」を！

狛江市在住の国際ジャーナリストの伊藤千尋さんの昨年1月の講演会をきっかけに、足立区の千住九条の会が、「九条の碑を建立する会」を2020年11月に発足し、建設に向けて活動しています。

憲法改正に関しては、今年5月に行われた読売新聞の世論調査(注1)では、憲法を「改正する方がよい」が56%となり、前回2020年3～4月調査の49%から上昇し、憲法を「改正しない方がよい」は48%から40%に減ってし



千住九条の碑 完成予想図

和泉本町1丁目在住 須貝 光典

まいりました。朝日新聞の調査では、まだ護憲派が強いのですが(注2)、維新の党などが来年の参議院議員選挙で国民投票実施を提案するなど、緊迫した状況が出てきています。

このような中で、護憲派もさらなる行動を起こす必要があります。1982年に「平和都市宣言(注3)」を出した狛江市でも、市民の総意として、「九条の碑」を建立する運動ができればいいなと思います。「九条の碑建立運動」が、市民が憲法改正について考えを深め、改憲阻止のきっかけになればいいなと思います。皆さんはどう思いますか。

注1)読売新聞、2021/05/03、

<https://bit.ly/3cbowtG>

注2)朝日新聞、2021/5/3、

<https://bit.ly/30eZzL3>

注3)狛江市議会、1982/6/21、

<https://bit.ly/2YK00wB>

総選挙結果について

和泉本町 木暮 真次

市民連合と政策協定をした立憲野党が初めて政権交代を掲げて臨んだ総選挙であったが、解散時を14議席下回る結果となった。小選挙区は統一した214選挙区で62選挙区で当選、敗れた選挙区でも接戦し、野党共闘の力を発揮した。他方、比例区では立憲民主党の票は前回選挙得票に留まり、当時の「希望の党」の票960万票を吸収しきれなかった。それは維新帰りの500万、立民から分離した国民民主に

260万、れいわに200万票に分散したかのような結果となった。政権交代に向け最初の一步を踏み出した結果と評価するのが妥当かと思う。改憲勢力は2/3を超え、改憲の動きは強まる。憲法に基ずく政治の回復、新自由主義の下で不安定な雇用、貧困と格差を是正させるための政権交代は立憲野党による共闘以外にない。新自由主義で壊されつつある社会を回復させたいと願っている。

衆院選比例代表党派別得票数・得票率											
年 月		2021年10月				2017年10月			2014年12月		
項 目		得票数	得票率	総議席	解散時	得票数	得票率	総議席	得票数	得票率	総議席
与党	自民	19,914,883	34.6	261	276	18,555,717	33.3	284	17,658,916	33.1	291
	公明	7,114,282	12.3	32	29	6,977,712	12.5	29	7,314,236	13.7	35
保守系	維新	8,050,830	14.0	41	11	3,387,097	6.1	11	8,382,699	15.7	41
	(希望)					9,677,524	17.4	50			
	(民主)								9,775,991	18.3	73
	国民	2,593,354	4.5	11	8						
立憲野党	立民	11,492,088	19.9	96	110	11,084,890	19.9	55			
	共産	4,166,076	7.2	10	12	4,404,081	7.9	12	6,062,962	11.4	21
	れいわ	2,215,648	3.8	3	1						
	社民	1,018,588	1.7	1	1	941,324	1.7	2	1,314,441	2.5	2

共通政策をもっと広く

東野川・前土肥 保

選挙結果に「野党共闘は失敗」、「共産党との政権合意が立憲民主党の支持を減らした」の大合唱ですが、これらは当事者ではなく自民党や政権に近いメディアが発信しています。
「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」と4野党（立民、共産、社民、れいわ）が合意した「衆議院選挙における野党共通政策の提言」は「安保法制、特定機密保護法、共謀罪などの法律の違憲部分を廃止し、コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する」、「森友・加計

問題、桜を見る会疑惑など、安倍・菅政権の下で起きた権力私物化の疑惑について、真相究明を行う」などがもっと伝わり、投票率があと数%でも高ければ結果は違っていたでしょう。
維新の議席「激増」にひるみましたが、民主党が政権を失った2012年総選挙は比例で1,226万票余（20%超）40議席、小選挙区と合わせて54議席に「躍進」したのも一時的だったことを思い出しました。

国民主権の強化を目指す市民と野党の連合・連帯が勝利の道を実証

市民と野党の共闘の実現で都政の転換をめざす呼びかけ人会議

永山 利和

2021年総選挙の結果は、様々な評価がある。負け惜しみに見られるが、東京都等での狭い体験で比例区の量的後退はあったが、政策の協議・協定を深めた小選挙区に質的進化に現れた。神奈川県での自民党幹事長、東京都で石原一族を打ち砕く強い力を発揮した。これら選挙区こそ今回の総選挙の核心を示している。これらの部分的勝利は、無党派層の動向も無視できないが、東京都知事選挙、都議会議員選挙そし

て総選挙で、国民主権、立憲政治、環境保全、ジェンダー平等など、基礎的課題に連合・連帯の重要さを自覚し、意識し、協議し、政策に凝縮して候補者を絞り、投票を呼掛ければ(公選法の縛りが運動を阻害しているが--)、歪んだ選挙制度の下でも政治転換を実現できることを実証した。社会進歩の歴史は勝利の日まで敗北が続く。一喜一憂も起きるが牛の歩みで進むことである。

狛江の自然



カワセミの「ホバリング」

カワセミの「ホバリング」の様子です。「ホバリング」とは、鳥が空中の一点に静止しながら、周囲を観察したりエサ探しをすることです。

今回の3枚の写真を比較してよく見るとわかりますが、カワセミの後ろの景色がほとんど変化していません。空中の一点に静止しているからです。

少数の鳥が行う難しい行為ですが、カワセミのホバリングを撮影できると、カメラマンは大喜びです。

高橋 廉（岩戸在住）